

九州の火山と地熱を知ろう！

火山はエネルギーの宝庫！！

九州には、何万年もの大昔に超巨大噴火を起こした火山や、今も噴火活動を続ける火山たちがたくさんあります。そんな火山のマグマなどで温められた高温の温泉は、電気に変えることができます。これが地熱発電です。九州には日本一の地熱発電パワーをもつ八丁原発電所（大分県九重火山）があるんですよ！

火山のものすごいエネルギーとそれを電気に変えるしくみ。「有名な先生たちのお話」と「地熱発電のしくみがわかる工作」で学んでみましょう！

開催日 2014年11月1日（土）

会場 福岡大学七隈キャンパス ※キャンパス MAP は裏面をご覧ください

時間 13:30～16:30 受付 13:00 ～

「お話」と「工作ワークショップ」の2部構成

●第一部：13:30～15:10 ●第二部：15:30～16:30

第一部

先生方のお話と質問コーナー 会場 中央図書館多目的ホール（A会場）
対象 子どもから一般の方まで

コーディネーター：田口幸洋 先生（福岡大学・教授）

- 13:30～「九州の火山」 カルデラ火山の壮大な景色とストーリー
- 14:10～「地熱発電の現状と展望」 火山のエネルギーを電気に変える仕組みとその将来
- 14:50～「なんでも Q and A」 発電や火山の噴火のことたくさん質問してみましょう！

申込不要

第二部

工作ワークショップ 会場 18号館 1F 地球科学学生実験室
対象 小学生から中学生
定員 50人（親子なら25組程度）

コーディネーター：吉川美由紀 先生（桜島ミュージアム、福岡大学・非常勤講師）

●15:30～16:30 地熱発電の仕組みがわかる工作ワークショップ

申込制

小学校低学年の子どもたちは、保護者の人といっしょに来てください

お申込

中西利典
（福岡大学）

MAIL

kazanfu@gmail.com

TEL

092-871-6631（内線：6289）

申込内容 ①名前 ②生年月日 ③学校名 ④電話番号 ⑤メールアドレス（お持ちの場合）

※保護者の方はお名前のみお知らせ下さい



11/1
土

九州の火山活動と災害

日時 11月1日（土） 10:00～12:00

場所 福岡大学七隈キャンパス 中央図書館多目的ホール（A会場）

講演 「九州の火山活動の現況と観測体制、防災体制」 山里 平（鹿児島地方気象台長）
「九州の火山における火山噴火予知と災害予測」 井口 正人（京都大学防災研究所火山活動研究センター教授）
インドネシアの火山噴火からのフィードバック

公開セッション

11/2
日

ジオパーク

日時 11月2日（日） 9:30～12:15

場所 福岡大学七隈キャンパス 中央図書館多目的ホール（A会場）

講演 G1-01 廣瀬 亘 「北海道中央高地ジオパーク構想」
G1-02 和田 恵治 「火山を主体とした北海道中央部と東部のジオパーク構想」 大雪山・十勝岳と阿寒・屈斜路
G1-03 林 信太郎 「鳥海山・飛島ジオパーク構想のジオストーリー」
G1-04 鈴木 雄介 「富士山での「ジオツアー」実践とその課題」
G1-05 永尾 隆志 「龍が通った道」研究成果を教育・観光・地域振興に活用する
G1-06 井村 隆介 「2011年霧島山新燃岳噴火に対する危機管理とジオパーク」
G1-07 池辺伸一郎 「阿蘇における火山災害とジオパークの役割」
G1-08 谷口 宏充 「災害遺産を活用して巨大大自然災害からの復興を目指す」 科学・防災教育を目的としたジオアークに向けて
G1-09 大野 希一 「ジオパークの解説板に何を書くか」 島原半島ジオパークでの情報発信の実例
G1-10 伊藤 英之 「ジオパーク顧客獲得戦略の基礎研究」 三陸ジオパークを例として

ジオパークって何？
どこにあるの？
何をする場所？

ポスターセッション
A会場入口付近

GP-01 宇井忠英ほか「洞爺湖有珠山ジオパークにおける外来者向けの火山防災啓発活動」
GP-02 中田 節也「ジオパーク：世界の動向と日本の現状」
GP-03 山口 珠美「観光地での火山の普及活動」箱根ジオパークの新しい拠点施設のとりくみ紹介

お問合せ

日本火山学会火山防災委員会

吉本充宏（山梨県富士山科学研究所）

MAIL myoshi@mfri.pref.yamanashi.jp



福岡大学七隈キャンパス MAP

福岡市城南区七隈8-19-1